

平成26年度 山田小学校区きずなづくりトーク トークまとめ

7月4日(金)に開催された「山田小学校区きずなづくりトーク」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。トークのまとめができましたので、送付いたします。

なお、山田小学校区では、【防災訓練】【地域の連携】の2つの分野について、意見交換や情報共有が行われました。(市のホームページにも掲載)

問合せ 地域安全課 きずなづくり推進室 (電話983-2708)



皆さん、ご参加ありがとうございました。

【当日参加団体一覧】

団体名		
若松町自治会	交通安全母の会	山田小学校 PTA
加茂町内会	体育振興会	山田中学校
西旭ヶ丘町内会	民生委員・児童委員	子ども会連合会
青葉台自治会	加茂保育園	錦田地区地域包括支援センター
山田町内会	旭ヶ丘旭寿会	地域づくりコーディネーター
旭ヶ丘町内会	旭ヶ丘幼稚園	初音台子ども会
初音台町内会	旭ヶ丘幼稚園 PTA	三恵台子ども会
三恵台自治会	山田小学校	加茂子ども会

※当日参加者 32 名



アンケート：分野ごと最も話したいテーマについて、参加者の希望を伺いました。

【会場アンケート結果】

	検討テーマ
防災訓練	①地域の訓練の輪を広げよう！・・・・・・・・・・10人 ②要援護者の救助方法について考えよう！・・・・・・・・10人 ③平日昼間の災害発生に備えよう！・・・・・・・・・・7人 ④訓練の更なるレベルアップを目指そう！・・・・・・・・2人
地域の連携	①山田学区協議会の再建について考えよう！・・・・・・・・9人 ②子どもの登下校時の安全を守るためには？・・・・・・・・10人 ③住民のふれあい（交流）の機会を増やすには？・・・・・・・・11人

下記のテーマにもとづいて発言された内容について、現状・課題を「今まで」、課題解決につながる取り組み・アイデアを「これから」に分類し、まとめました。（○：参加者発言 ●：市長発言）

【防災訓練】

今まで	これから
<p>テーマ① 地域の訓練の輪を広げよう！</p>	
<p>○旭ヶ丘町内会は、毎年秋に 300 人規模で山田市営住宅と合同で防災訓練をやっている。最近、中学生の参加が増えている。PTA 役員から選出された方を、地域の中学生のまとめ役として自治会で任命しているのだが、今年は中学で選出の報告がなかったのが、昨年の方にそのままやっていたとということになった。</p> <p>○昨年度、訓練参加者は中学校全体で 50%を超えた。1、3 年生が多く、2 年生が少ない。3 年生は部活が終わった時期なので、参加しやすいのだと思う。防災への関心が高まっていると思う。</p> <p>○中学生は戦力になると思う。西伊豆町の宇久須では、中学生が救急救命士の資格を取ったり、AED 講習会をやるなど、防災に積極的に取り組んでいると、朝日新聞に掲載されていた。</p> <p>○三恵台の集会議場で、6 町内の連携を図ろうと会合の場を設けた。三島は最大震度 6 強ということで、諸々のことを確認した。11 月にもう一度、各自治会・自主防災会が集まって、協議をする。</p> <p>●自主防災リーダー研修会が 7 月にあり、防災マップ作りなど進めていくことになっている。</p>	<p>○中学校で地域ごとの責任者を選出してほしい。中学校で選出してもらえると、中学生をまとめる責任者が継続するので、そういったシステムを作ることをお願いしたい。</p> <p>○「中学校 PTA の中で責任者を」ということだが、どうだろうか。地域の組織の中で、PTA が役割を持った方がいいのか？学校でそれを決めるには、PTA との話し合いが必要になってくる。</p> <p>○中学生が戦力になることを踏まえ、加茂の自主防災会の中には、救急救命士や防火管理者講師などがいるので、そういった経験を中学生に積ませるようにしている。</p> <p>○一番大事なことは、各自治会で勝手に動くのではなくて、6 町内会がまとまること。</p> <p>○6 町内に入っていない町内とも、なんらかの話し合いの機会を作るといいのかなと思う。</p> <p>●防災マップを基にして、地域の防災体制を築いてほしい。</p>
<p>テーマ② 要援護者の救助方法について考えよう！</p>	
<p>○旭ヶ丘では自治会の防災会とは別に、「災害時要援護者サポート隊」を、5 区に 2 名ずつ、前区長にも参加頂き、全 10 名で構成している。前区長はその地区にどんな方が住んでいるか知っているの、参加してもらっている。</p> <p>○民生委員 2 名ではとてもできないので、自治会長と相談し、自治会の方に協力して頂くということで、平成 23 年度から「災害時要援護者サポート隊」(見守り隊)を作って、活動している。</p> <p>○他の町内で「災害時要援護者サポート隊」のような活動があまりないのは、自治会と民生委員の連携が一番のネックになっているからだと思う。</p> <p>○若松町では、民生委員との話し合いはできているが、組長や要援護者の方の向こう三軒両隣の</p>	<p>○一人暮らしの高齢者調査が民生委員の活動の 1 つだが、「災害時要援護者」はやはり自治会が主となって対策を考え、民生委員はサポートをする。</p> <p>○自治会と民生委員の協力が一番大切だと思う。</p> <p>○旭ヶ丘自治会の長倉会長から、「役員経験者を取り込んで、サポート隊を作っていく」と聞いた</p>

今まで	これから
<p>話になると、皆避けていくのが実情。民生委員と自治会役員の意思疎通ができていながら、どうして組に持っていきとうまくいかないのか。</p> <p>○三恵台では、要援護者は組で助ける。怪我をした場合は代理人が助けに行くというように、タイムリーな活動ができるようにしていきたい。</p> <p>○昨年、一昨年の会長から要援護者リストを預かり、リストが今2冊ある。どうしたものか。</p> <p>○要援護者リストを自治会長が市へ取りに行くシステムだと、取りにいかない自治会がある。もらいに行かないのには理由があり、「リストをもらうと対策をしなくてはならないが、1年ごとに町内会長が代わるので、できない」というところもある。今年からは市から配布する方向だと聞いたが、それはどうなっているのか。</p>	<p>ので、そういったことも参考に考えていきたい。</p> <p>●要援護者とは、一人暮らしの高齢者と障がいを持っている方。助けてもらいたい方のリストを渡すので、そのリストを基にどうサポートしていくか、計画づくりをしてほしい。旭ヶ岡、芙蓉台、大社町、富田町などが参考になる。</p> <p>●災害対策基本法が改正され、リストを作成し、各町内会で支援体制を構築することになった。リストの受け渡しについては、現在検討しているところなので、今日は回答できないことをご理解いただきたい。</p>

テーマ③ 平日昼間の災害発生に備えよう！

<p>○平日昼間、地域に残っているのは年寄りばかり。老人会も足腰が弱くて、歩き回ったりするのは無理かもしれないが、災害については町内会役員と、ある程度情報を整合しておかないと、いざという時行動できない。</p> <p>○先日、加茂で火災が発生した時、消防署の方から消火栓の場所を聞かれた。女性ばかり集まっていた、遠い場所のちゃんとした消火栓はわかるが、道路にある消火栓がわからなかった。</p> <p>○加茂では、事業部の中に防災部があり、防災部長と、班長、組長を主体に、自主防災組織を作っている。任期1年だと仕事を覚えないうちに、次に代わってしまうので、2年任期としている。</p>	<p>○今後、防災倉庫に何が入っているのかなど、災害対策について、老人会と町内会役員で話し合う必要があると思う。</p> <p>○第一避難地や災害対応を考える上で、「昼間、役員が地元にいるかどうか」を町内会で把握しておくことが、第一段階だと思う。</p> <p>○AED や消火栓が町内のどこにあるか、そういう情報を知っておけたらいいと思う。</p> <p>○道路に立っている消火栓は分かりやすく、使い勝手も良い。住んでいる地区に関係なく、誰でも一番近いところからぱっととれるようになるといい。</p> <p>○加茂では、町内の水道の路線図があり、消火栓の位置がわかるようになっている。消火栓の開け方を自主防災会の方から、周知してもらっている。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テーマ④ 訓練の更なるレベルアップを目指そう！

<p>○今年、初めて防災関係の役員になり色々調べたが、三島市は火災と家具の転倒による怪我が心配されるので、この2本を柱に消火器や担架などの訓練を行なっている。</p> <p>○三恵台では昨年、12月第一日曜日に訓練を行ったところ、寒くて仕方がなかった。</p>	<p>○実際の災害で大事なことは初期消火。</p> <p>○今年の訓練は、11月に実施することにした。今年度は全27の組単位で訓練を行う。例えば組の</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------

今まで	これから
<p>○自助と共助の間に互助がある。隣近所との助けあいが非常に大事。</p> <p>●三島市内に救急車は4台しかない(人口3万人に1台)。阪神淡路大震災では8メートル以下の道路は全て通れなくなった。</p> <p>●「黄色いハンカチ」は安否確認の道具。我が家は大丈夫という家は玄関に黄色いハンカチを掲示してくれれば、安否確認が容易になる。</p>	<p>人達が消火器やバケツを持って、消火訓練をやる。また、消火器や消火栓の場所を確認していきたい。各組長が、積極的に参加しないと意味がない。</p> <p>○災害時に隣近所との助けあいや、避難できる体制を築いていきたい。それを行うには日頃からの声かけやあいさつが大事になってくる。</p> <p>●救急車到着まで相当時間がかかると思われるので、もし怪我人がいた場合には、自分たちで救出し、病院まで搬送しなければならない。</p> <p>●訓練の時も「黄色いハンカチ」を使用すれば、訓練に参加できない方が参加意思を示すことに使える。</p>

【子どもの健全育成】

今まで	これから
<p>テーマ① 山田学区協議会の再建について考えよう！</p>	
<p>○62歳になる。25歳の時、山田小学校区に体育協会がなかったので、4人の発起人で山田学区の体育協会を作った。現在の体育振興会の前身であり、当時は大勢の人が集まったが、学区の体育振興会は徐々に斜陽化し消滅してしまった。</p> <p>○当時、体育協会ができて活動が活発になった時に、学区の町内会の協議会がないのはおかしいということで、学区の協議会を1~2年遅れで作った。自分もお手伝いをしたのだが、内容はほとんど体育協会任せの行事だった。町内会長が何かするというより、体育協会のための学区の協議会だったと思う。今は協議会も無くなっている。</p>	<p>○防災のこともあり、町内会長や学区の関係団体が集まって、情報交換や色々なことを協議する機会は、とても大切。ただし、無理して何かするのは考えものだと思う。</p> <p>○市も協議会は必要だと考えている。課題を解決するという意味でも、今後、協議会について検討してほしい。</p>
<p>テーマ② 子どもの登下校時の安全を守るには？</p>	
<p>○OPTAでは校外指導部を中心に、地区ごとに日程を決めて見守りを行なっているが、毎日ではないので、各地区でボランティアが見守りをやっている。</p> <p>○昨年、ボランティアの方々に、市の保険に入るかどうか小学校でアンケートをとったが、「各地区で保険に入っているので大丈夫」ということだった。</p> <p>○今は母親も働きに出ていて、昔のように母親が見守って歩くということが難しくなっている。色々な方が協力してくれていることには、大変感謝し</p>	<p>●登下校時の見守りは、町内会の集まりなどでボランティアを呼びかけるなど、見守りの体制作りを進めてほしい。</p> <p>○学校と地域でもっとつながってほしいと思う。</p> <p>○地域の方々が家にいる方は、なるべく子どもたちを見守ってほしい。下校時には窓から様子を見るだけでも違うと思う。子どもたちに安全な</p>

今まで	これから
<p>ている。</p> <p>○加茂インターができて、交通量が増えている。信号のない横断歩道がいくつかあり、ゆるいカーブをスピードを出して走ってくる車も多く、すごく怖い状況。小学校で信号のない横断歩道は渡らないよう指導しているが、放課後は遊びへの行き帰り、習い事の行き帰り等、渡る子が多くて怖い。</p>	<p>環境を作ってあげてほしい</p> <p>○できれば赤い塗装をする、信号を設置するなどの対策をお願いしたい。</p> <p>●町内会からも要望を受けている。信号機は警察の所管なので、お願いはしているが、なかなかすぐには難しい。市としてできることは看板の設置などになる。</p>

テーマ③ 住民のふれあい(交流)の機会を増やすには？

<p>○集会場の増築が昨年度終了し、倍の広さになった。住民の交流を深めるため、6月から「旭ヶ岡カフェ」を水曜と土曜に開き、囲碁・将棋・マージャン・健康体操・おしゃべりなどの催し物を始めた。始めて一か月間で、116名の参加があった。</p> <p>○今年度から包括支援センターでは、山田地区では初音台、三恵台、旭ヶ丘で、「地域のふれあいの場づくり」を始めた。閉じこもり予防を目的としているが、まだ始めたばかりで参加者が少ない。</p> <p>○三恵台の入口左側に、雑草が生えている空き地スペースがある。そこを借りて、今「フラワーレッドワーク(仮称)」という名前で、回覧で花壇づくりの募集をかけている。</p> <p>○子ども会の解散も増えている。球技大会をやる場合でも、盛り上げたり、助けてくれる「世話人」が減ってきている。子ども会独自でやるのは年々難しくなってきた、「だからやめよう」という子ども会も増えている。</p> <p>●子ども会はピンチ。市内に小学生6,000人ほどいるが、加入は2,000人ほど。母親が忙しく、役員の担い手がいなくなり、どんどん子ども会が消滅している状況。</p> <p>○山田小 PTA では、体育振興会と協力して、スポーツフェスティバル&山田小交流行事と一緒に</p>	<p>○小学生から高齢者の方まで交流が深まり、ボランティアの方を中心に、かなり楽しい雰囲気になっている。さらに活動を広げていきたい。</p> <p>○地域包括支援センターが健康体操をしようということで、7/7に「旭ヶ丘なかよし体操」を開講する。月に1~2回、体操はもちろん、医学療法士や民生委員等が指導しながら、口腔ケアや認知症ケアなどを取り入れていく。皆さんの協力を得て活動していきたいと思っている。</p> <p>●コミュニティ活動の補助金制度もあるので、各自治会で検討してほしい。</p> <p>○本当に閉じこもっている方に来て頂くなど、参加者を増やしていきたい。町内会の力をお借りしたい。</p> <p>○花好きな人が集まってそこに花を植えるようになれば、やはり「ふれあいの場」が広がるし、三恵台をアピールすることにもなる。地域がきれいになっていけば、防犯にも役立つ。</p> <p>○自治会や老人会の方、他の地区ではおやじの会など、色々な方に助けて頂きたい。その為には、子ども会からも声を発していかなければならないと思う。ぜひ何か目についたら助けて頂ければと思う。よろしくお願いします。</p> <p>○山田小学校にはおやじの会があり、今日、ここにも二人来ている。そのへんはまたおやじの会の方で話し合いたいと思う。</p> <p>●北小は PTA 育成部部長が子ども会地区長を兼ねているので、ドッジボール大会は PTA と子ども会共催で開催している。ぜひ地域で連携し、子ども会活動のサポートを考えてほしい。</p> <p>○10月開催なので、町内会、自治会の方々、ぜひ小学校の方に足を運んで頂きたい。よろしく</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今まで	これから
<p>やろうと考えている。地域の関連団体の方に多く参加してもらおうと、小・中学校、色々な所に参加の要請を出している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●山田小学校区は唯一、校区の運動会を開催していなかった地区。本来、町内会主催、体育振興会開催で他校区はやっているのだが、昨年、ボランティアで始まったところ。 ●学校支援地域本部作りを進めている。教育は、学校と家庭と地域が連携していく方向になっている。 <p>○5 町内ほど、錦田地区自治会連合会に入っている。以前は錦田小学校に通ったが、今はなじみがない、生活圏がないこともあり、そこへ町内会長が行って協議するのもまったく身が入らない。10月に錦田地区でふれあい祭りがあるが、集まってくれと言われてもなじみがないので、集まるのも難しい。会長から役員に行ってほしいとも言いにくい。</p>	<p>お願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運動会は健康づくりと、きずなづくりの二つの目的がある。ぜひ活動を発展させてほしい。 ●学区内には色々な能力を持った方が多くいるので、学校をサポートしていくよう呼びかけてほしい。 <p>○町内会長の連合会を小学校区でできないものか。そうなれば、防災の面でもうまくいくと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●個人的にはまったく同じ意見。避難所で違う連合会の方と生活することになってしまうと、顔も知らない為、トラブルがおこる可能性もある。 ●自治会は自主的組織のため、市から指導するわけにはいかない。自治会連合会の会議でそのような提案をして頂きたい。

今後の地域活動の参考にしてください！